

第 21 回化学工学の進歩講習会「燃焼・熱工学」

1. 主 催 化学工学協会
2. 共 催 日本鉄鋼協会東海支部
3. 日 時 昭和 62 年 10 月 20 日 (火)～22 日 (木)
4. 会 場 愛知県産業貿易館 西館 第一会議室
(名古屋市中区丸の内 (052) 231-6351)

5. 内 容

第 1 日 [10 月 20 日 (火) 9:00～16:30]

- | | | |
|-----------------|------|-------|
| (1) 総論 | 名大工 | 架谷 昌信 |
| (2) 核沸騰の機構と熱伝達 | 九大工 | 藤田 恭伸 |
| (3) 高温熱交換器 | 東工大 | 越後 亮三 |
| (4) 流動層伝熱の現状 | 東農工大 | 堀尾 正靱 |
| (5) 伝熱の基礎とその促進法 | 東工大 | 土方 邦夫 |

第 2 日 [10 月 21 日 (水) 9:00～17:00]

- | | | |
|------------------------|-------|-------|
| (6) 燃焼計測技術 | 豊橋技科大 | 大竹 一友 |
| (7) メタノールの燃焼 | 東大工 | 幸田清一郎 |
| (8) 蓄熱・熱輸送 | 東工大 | 神沢 淳 |
| (9) 省エネルギー燃焼技術と高負荷燃焼技術 | 阪大工 | 水谷 幸夫 |

(10) 伝熱促進プロセス 名大工 外山 茂樹
第 3 日 [10 月 22 日 (木) 9:00～16:00]

- | | | |
|-----------------------|-----|-------|
| (11) ふく射性媒体の伝熱 | 岐大工 | 西村 誠 |
| (12) 希薄燃焼 | 東大工 | 竹野 忠夫 |
| (13) 石炭の燃焼 | 群大工 | 定方 毅 |
| (14) 高度化する最近のクリーン燃焼技術 | 名大工 | 新井 紀男 |

6. 定 員 90 名 (定員になり次第締め切り)

7. 参加費

参加日数	3 日とも	2 日のみ	1 日のみ
正 会 員	25,000	20,000	15,000
学生会員	5,000	5,000	5,000

(テキスト代含む)

* 共催学協会の法人会員も正会員扱い

8. 申込先 〒460 名古屋市中区栄 2-17-22

名古屋科学館内 化学工学協会東海支部
(052) 231-3070

新刊紹介

「設備診断技術ハンドブック」刊行のお知らせ

本会共同研究会設備技術部会において、昭和 58 年より企画・編集を進めてまいりました「設備診断ハンドブック」が本年 12 月に刊行されることとなりました。

今日、日本の産業界に於ては設備の自動化・高度化が進み、鉄鋼業のみならず全ての業種で設備が生産活動の主役を果すようになってまいりました。したがって設備の機能精度を維持するメンテナンス業務は極めて重要なものとなつてきております。かつて「予防保全」というメンテナンス理論が日本に導入されて以来、メンテナンスの理論・活動・システム等は、その重要性の認識とともに発展してきましたが、その経済性および信頼性を追求した結果として、近年「設備診断技術」が適用されるようになってまいりました。

本書は、本会設備技術部会を中心に第一線の執筆陣によつて、設備診断技術の現状と今後の動向について、鉄鋼業はもとより、各種機械・電気設備等広範な業種にわたつて実例を豊富に盛り込み集大成したものであり、本技術の実践的なハンドブックとして広く御活用いただけるものと確信いたします。

本会では、下記のとおり本書を購読される会員に特別価格を設けることといたしましたので、ご希望の方は官製葉書にて本会宛お申込み下さい。

記

「設備診断技術ハンドブック」会員特価要項

1. 発行時期・体裁 昭和 61 年 12 月下旬発行、B 5 判 350 ページ
2. 会員特価 8,800 円 (定価 9,800 円) 送料出版社負担
3. 申込方法 官製葉書にて、ご購入部数・送付先ご住所・ご氏名をご記入のうえお申込み下さい。(図書は丸善より振込用紙とともに発送されます)
4. 申 込 先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (〒100)
(社) 日本鉄鋼協会 庶務課 (担当 水野)
5. 支払方法 出版社より本書発送と同時に振込用紙をお送りいたしますので指定口座にお振込み下さい。
6. 注意事項 会員特価は一般書店では取扱いをいたしませんので必ず本会へお申込み下さい。
なお、発送等に関する問い合わせは下記へ直接お願いいたします。
(問い合わせ先) 丸善(株)出版事業部編集室 電話 03-272-0393 (担当 石寺)

(内 容)

- | | | | |
|---------------|-------------------|-------------|-------------|
| 1. 設備診断技術の概要 | 2. 回転機械診断技術 | 3. 静止機械診断技術 | 4. 電気設備診断技術 |
| 5. 油分析による診断技術 | 6. 鉄鋼における設備診断システム | 7. 診断のための資料 | |